



Power Up (パワー・アップ)

プログラム目的

3D 環境教育プログラムを通じ、子どもたちの環境への意識付けと、数学・科学・エンジニアリングへの関心を高める

概要

- 1 2008年2月発表
- 2 IBMが開発した多人数参加型の三次元インターネット・エンジニアリング・アドベンチャー・ゲーム。
- 3 仮想エンジニアとなって太陽光、風力、水力での省エネ・テクノロジーを開発し惑星を生態学的災害から救う。
- 4 日本では、教育用コンテンツとして小・中・高校の学校授業などで展開
(1セッション2授業時間 NPO早稲田環境教育推進機構：環境授業実施、IBMボランティア：キャリアについて講義)

環境授業支援実績 (2009/11/20現在)

2008/08～環境授業として展開開始。これまで東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、広島県の小学校高学年～高校1年生を対象に実施。

Power Up環境授業概要

- 新エネルギーについて学習
- PowerUpゲーム体験 ～ 環境危機に瀕している架空の惑星の仮想エンジニアとなって風力発電機を組み立て直すことで、環境分野でのエンジニアリングの原理や環境について学びます
- 風力発電機的设计・作成 ～ エンジニアになったつもりで風力発電機(羽の部分)を紙で試行錯誤しながら設計・作成、実際に電力を起こすまでを行ない、環境や風力発電の仕組みについて理解・関心を深めます。
- IBMエンジニア社員の話を聞く ～ エンジニアの仕事への意識・関心を高めてもらいます。

